

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	看護研究 I(基礎)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	8 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	前期	教室名	各教室
担 当 教 員	小笹美子	実務経験と その関連資格	徳島文理大学保健福祉学部 看護医研究科 教授			
《授業科目における学習内容》						
看護の質の向上、科学的根拠に基づく看護を目指すために看護研究の必要性が看護の役割の中に位置づけられている。学生は普段から問題意識をもつ必要性を理解し、看護研究についての基礎的知識を学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験、研究計画書、理論レポート、課題から総合的に評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 別巻 看護研究 医学書院 適宜資料を配布する。						
《授業外における学習方法》						
授業終了時に示す課題を実施しておくこと。授業で学習した内容の理解の促進と知識の定着のために主体的学習に取り組んでおく。						
《履修に当たっての留意点》						
看護研究は質のよい看護実践につながるものです。看護研究にとりくむことで多くのことを学んでほしいです。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての 各コマにおける 授業予定	看護研究の特徴を理解し説明することができる	教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること	
		研究とは、看護における研究の意義、研究の種類				
第2回	講義形式	授業を通じての 各コマにおける 授業予定	看護の視点で自分の興味関心のあることについて文献検索・文献検討を行い、情報を整理し自分の疑問をあげることができる	教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること	
		リサーチクエストション 文献検討と文献検索				
第3回	講義形式	授業を通じての 各コマにおける 授業予定	研究における倫理的配慮とその重要性について説明でき、倫理的配慮を記述できる	教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること	
		研究における倫理的配慮とその重要性				
第4回	講義演習形式	授業を通じての 各コマにおける 授業予定	研究の進め方を理解し研究計画書に取り組み、その取り組みを記述できる	教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること	
		研究の進め方 研究計画書				
第5回	講義形式	授業を通じての 各コマにおける 授業予定	研究の背景・意義を検討し、研究目的や研究方法を検討し記述できる	教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること	
		データの収集方法、分析方法				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての	論文のまとめ方についてのポイントをあげることができる	教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること
		各コマにおける授業予定	論文のまとめ方		
第7回	講義形式	授業を通じての	研究の発表の流れについて説明することができる	教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること
		各コマにおける授業予定	研究のクリティーク、発表の仕方		
第8回	講義演習形式	授業を通じての	これまで学んだことから、看護の視点を持ち、自分の興味・関心の研究計画書を発表する	教科書 AV機器他	授業で学んだ内容を復習し、講義終了時に示す課題を実施すること
		各コマにおける授業予定	研究計画書の作成、発表		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			